

4/9

大会の成功に向け
実行委員会を設立

2

016年の秋に長崎県で開催される高齢者のスポーツの祭典、ねんりんピック長崎に向け、「大村市実行委員会設立総会」および「第1回総会」を開催しました。

実行委員会のメンバーは市や市内の関係団体の代表などの53人で構成。松本市長は、「市民一人一人がおもてなしの心で選手をお迎えし、大村ならではの大会を目指しましょう。」と、あいさつしました。

本市では、卓球、ラグビーフットボール、ボウリングの3種目を実施。全国から約1万7千人が訪れる予定です。市民の皆さん、共に大会を成功させましょう。



ねんりんピック長崎2016大村市実行委員会設立総会・第1回総会を開催

4/14

ゆかりのある首長が
集い事業を決定

天

正遣欧少年使節にゆかりのある5市1町の首長会議を、本市で開催しました。

この会議は、16世紀に遣欧使節を派遣したキリシタン大名と、派遣された少年たちの出身自治体の、大村市、南島原市、宮崎県西都市、雲仙市、西海市、波佐見町で構成。主に国内や海外で中学生の交流などを行っています。会議では、今年度、5市1町の中学生が大村の歴史や文化に触れながら、交流を深めていく事業などを決定しました。



天正遣欧少年使節ゆかりの地首長会議を開催

4/16

震災復興支援のため
500万円を寄付

市

は、東日本大震災の復興支援を目的に、ポートルース大村の収益金から日本財団へ、500万円を寄付しました。

松本市長が同財団を訪問。震災から4年が過ぎ、今もなお厳しい状況が続いている被災地の速やかな復興を願い、笹川会長に手渡しました。

手渡された寄付金は、被災地の神社や祭りの復興などに役立てられます。

なお、市から同財団への寄付は、これで5回目で、総額4,000万円を超えました。



日本財団へ寄付



市の発展に貢献する
「ポートルース大村」

市長コラム
vol.42

皆さんご存じですか。去る3月28日、ポートルース大村の新しいイメージを一新して、コンパクトで明るく開放的な空間づくりやユニバーサルデザインを取り入れ、見事に新しく生まれ変わりました。初日は、8,235人のお客さまにご来場いただき、にぎわいをみせました。

大村ポートルース場は、昭和27年4月6日、日本で初めてモーターポートルースを開催した「ポートルース発祥の地」であり、今年で63年目を迎えます。平成11年度からは赤字に転落するという事態に陥りましたが、市民をはじめ多くのファンの皆さんのご支援のおかげで、平成17年度以降は経常利益での黒字を続け、平成25年度までに22億円の繰り入れがあり、市財政に寄与しています。

また、これまでも、市財政へ約589億円を繰り入れ、社会基盤の整備や福祉・教育事業に大きく貢献してきました。特に、平成22年度からは、ポートルース事業の繰入金金を基に「子ども夢基金」を創設し、保育料第2子以降の無料化など、子育て環境の充実を図っています。

ところで、新スタンドには、さまざまな長崎特産のグルメが楽しめるフードコートもあります。水面側のビューイングカフェでは、レースを観戦しながら軽食が楽しめます。入場ゲート横には噴水での演出があり、特に化粧室はパウダーコーナーなどを備えていますので、女性の皆さんにもきつと喜んでいただけたと思います。また、300人規模のイベントホールを備え、市民の皆さんにも開放していますので、大いにご利用いただければ幸いです。

いよいよ、5月26日から待望久しかった、「SG第42回ポートルースオールスター競走」が開催されます。この機会に新しくなったポートルース大村へぜひお立ち寄りください。